焼却処理開始後の進捗状況について

令和5年度
市民説明会・出前講座の実施状況

	回数	団体数	人数
市民説明会 （地区別）	6 （5会場）	―	132
市民説明会 （団体別）	56	72	934
出前講座	45	45	1,017
環境啓発事業	3	3	144
合　計	110	120	2,227

※市民説明会と出前講座は同内容
※環境啓発事業は小学校での授業

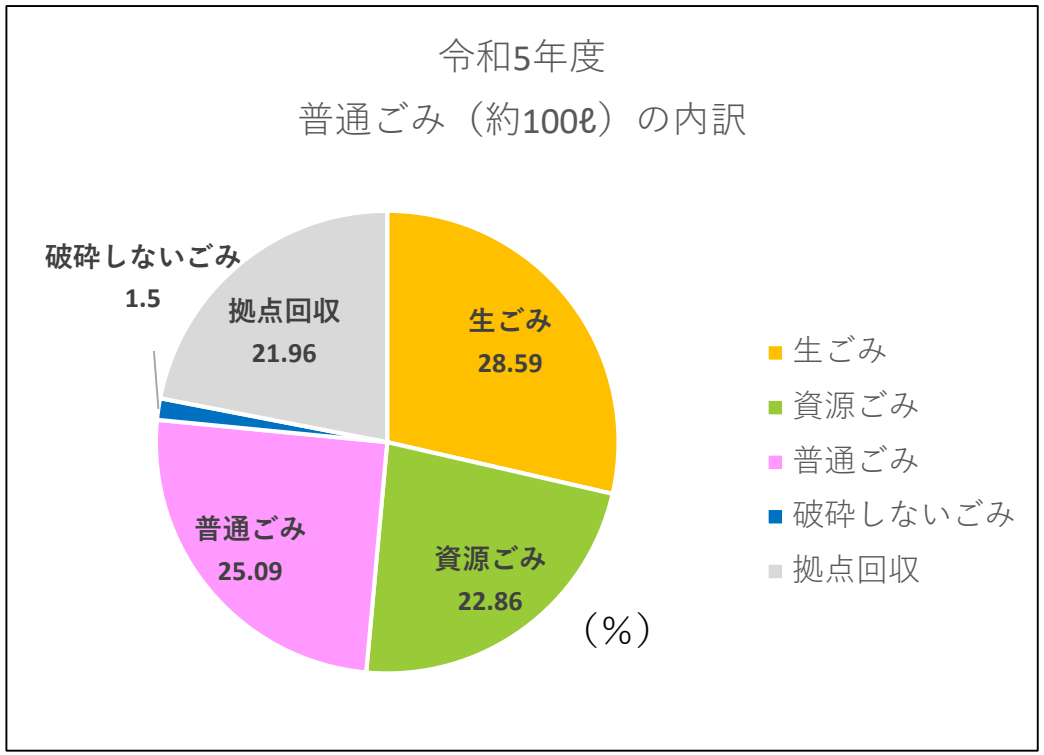
家庭ごみ実績値（収集量）の比較

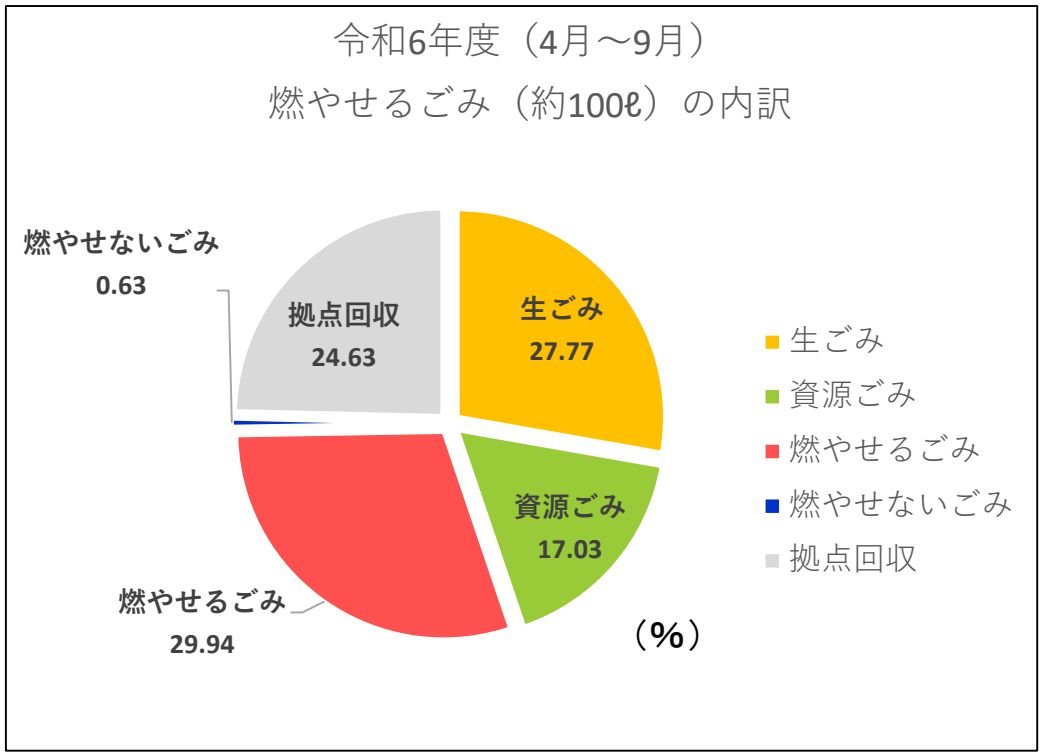
単位：トン

家庭系	R5	R6 （9月分まで）	R6見込み	R6計画値
燃やせるごみ	ー	3,284.9	6,569.8	5,435.0
生ごみ	1,250.9	726.0	1,452.0	1,812.0
ミックスペーパー	235.7	129.1	258.2	247.0

燃やせるごみとミックスペーパーは計画値を上回る見込みです。
生ごみは計画値を下回る見込みですが、昨年度と比較して収集量が大きく増加する見込みです。

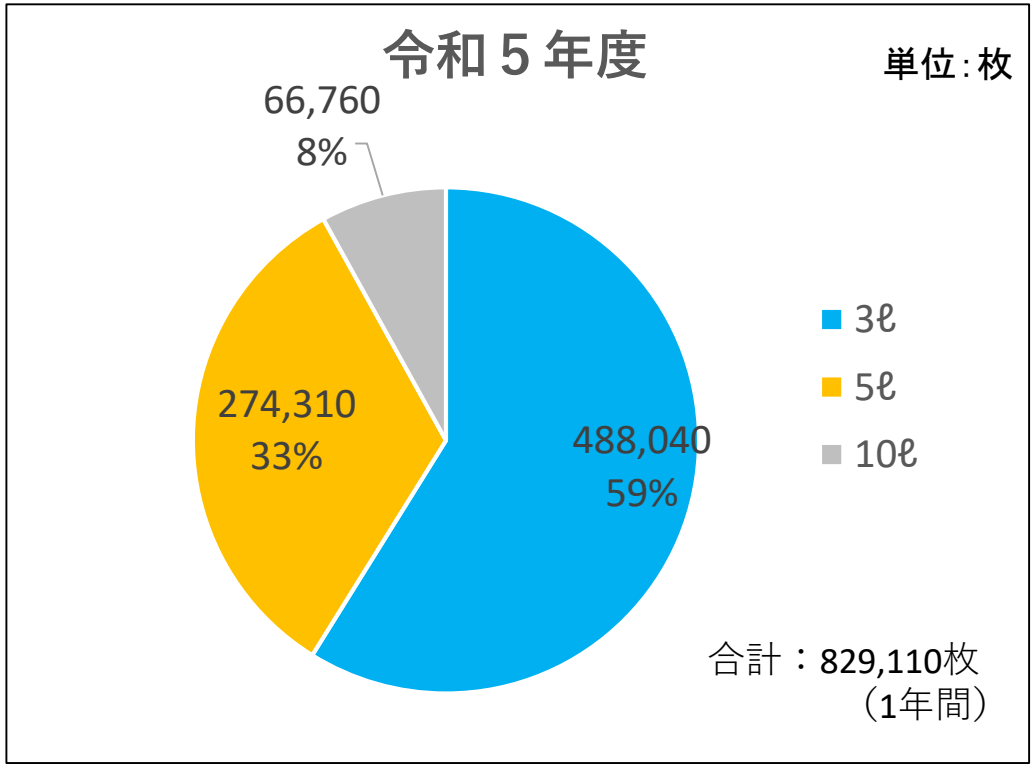
家庭ごみの組成分析の比較



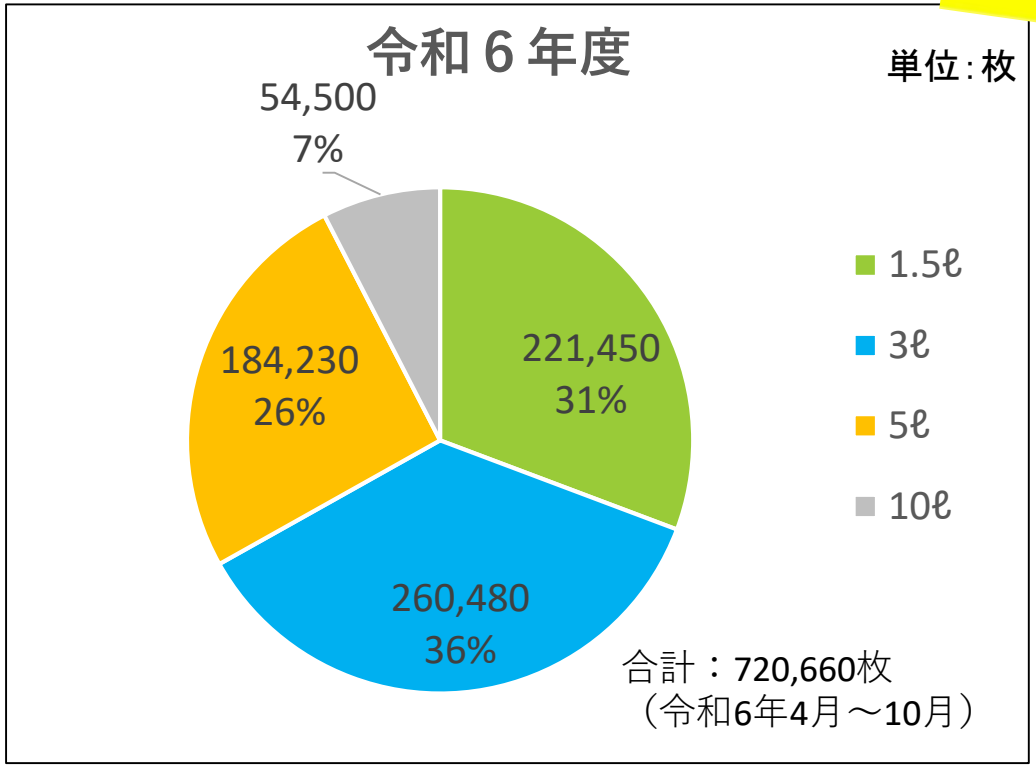


生ごみ・資源ごみの割合が減少し、燃やせるごみの割合が増加
→適正なごみの分別が促進

指定ごみ袋（生ごみ用）納品数について

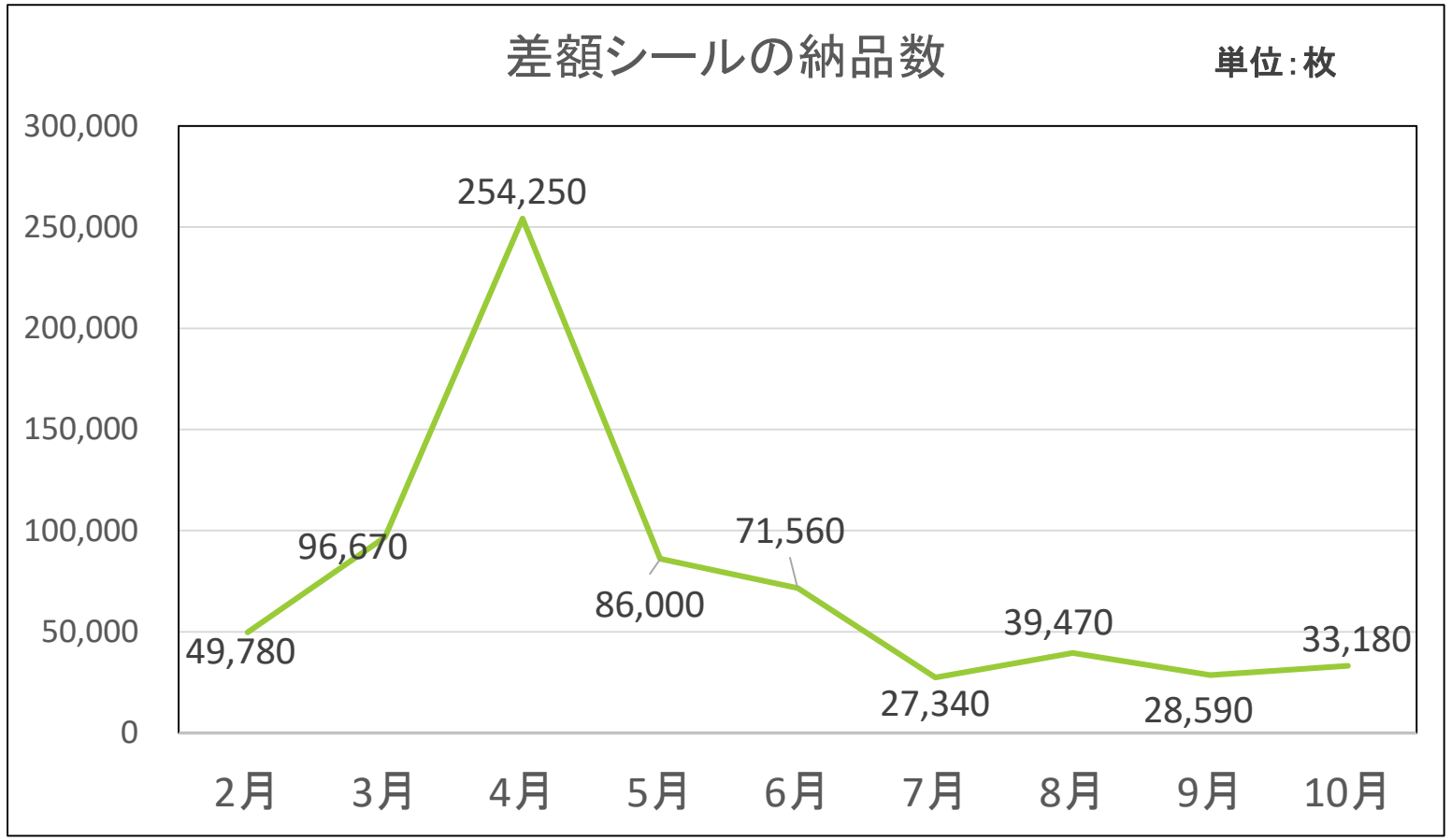


3リットルが6割を占めている



４月から生ごみ１．５リットルを新しく販売
→全体の**約3割**の納品数

差額シール納品数について

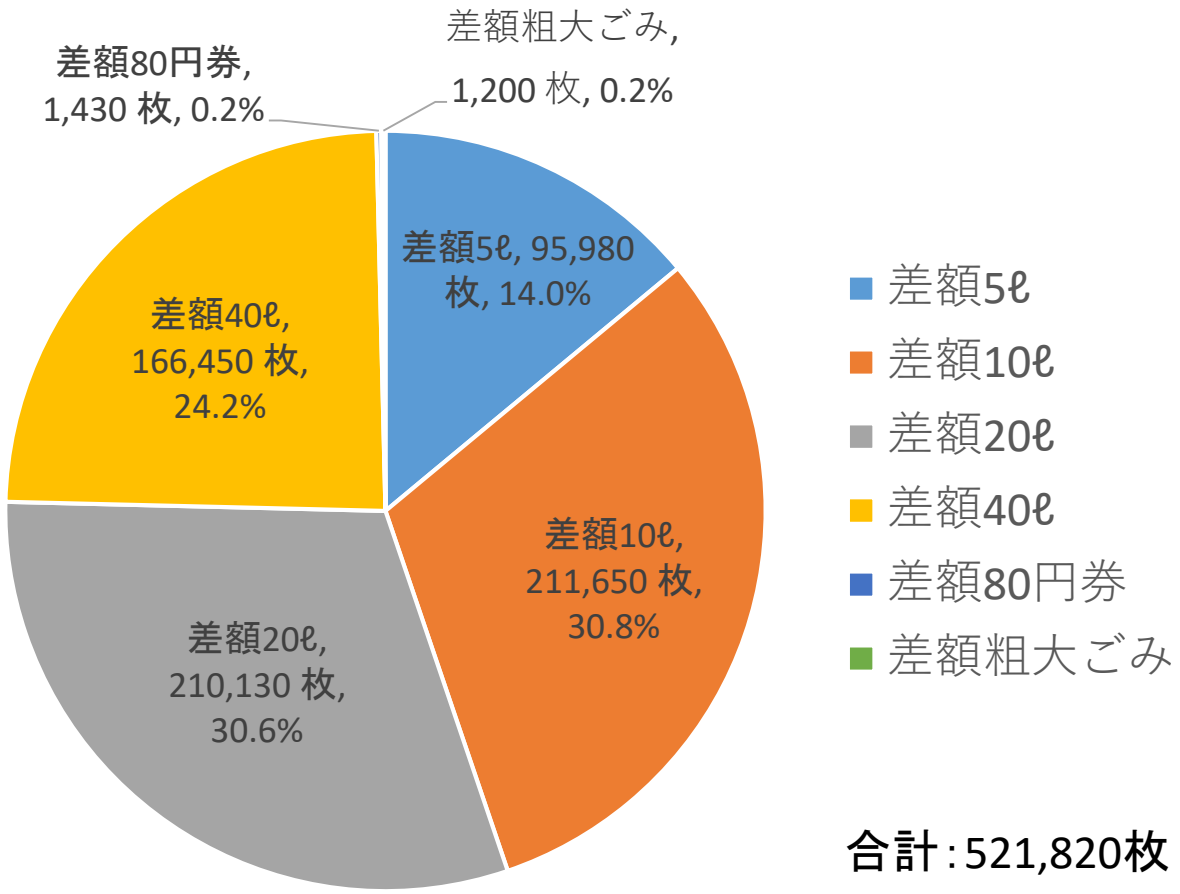


２月から各店舗への納品を開始しているが、４月に需要が急増し、５月以降は減少傾向にあるものの、現在も一定の需要は継続している。

使用期限１年延長

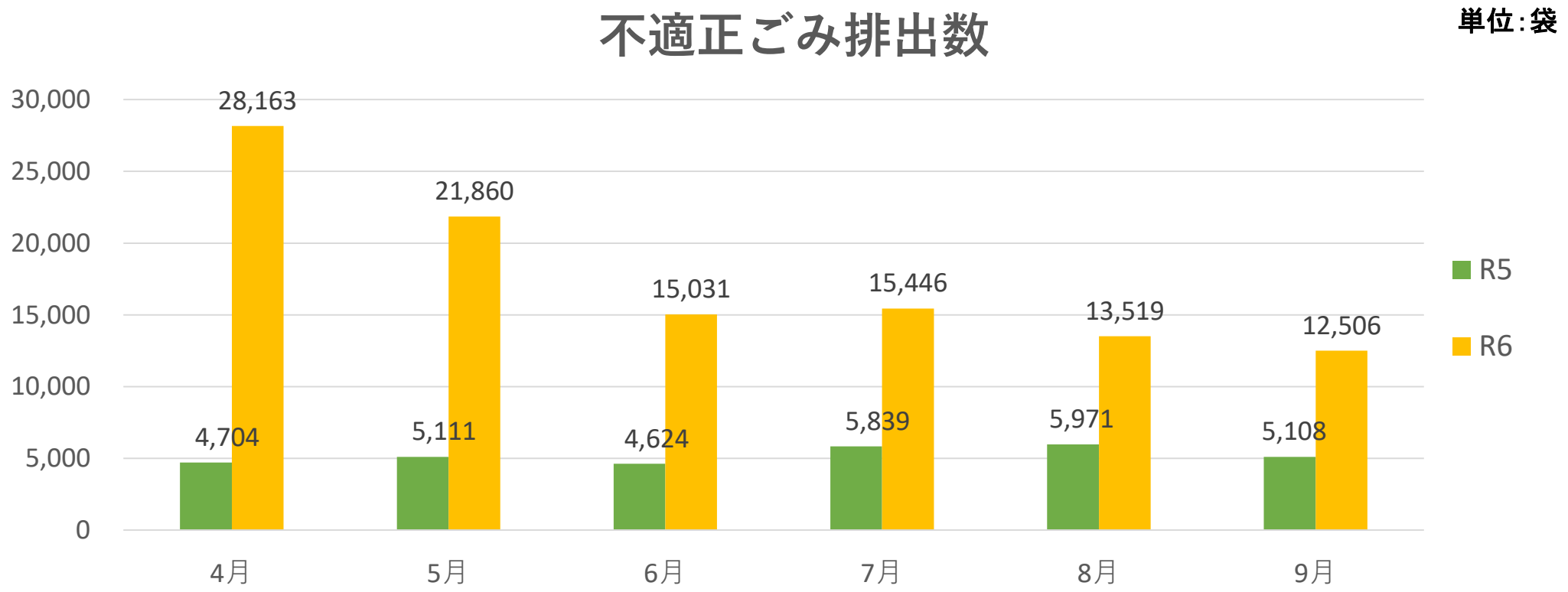
令和７年３月３１日→令和８年３月３１日まで

差額シール延べ納品数について（10月末時点内訳）



合計：521,820枚

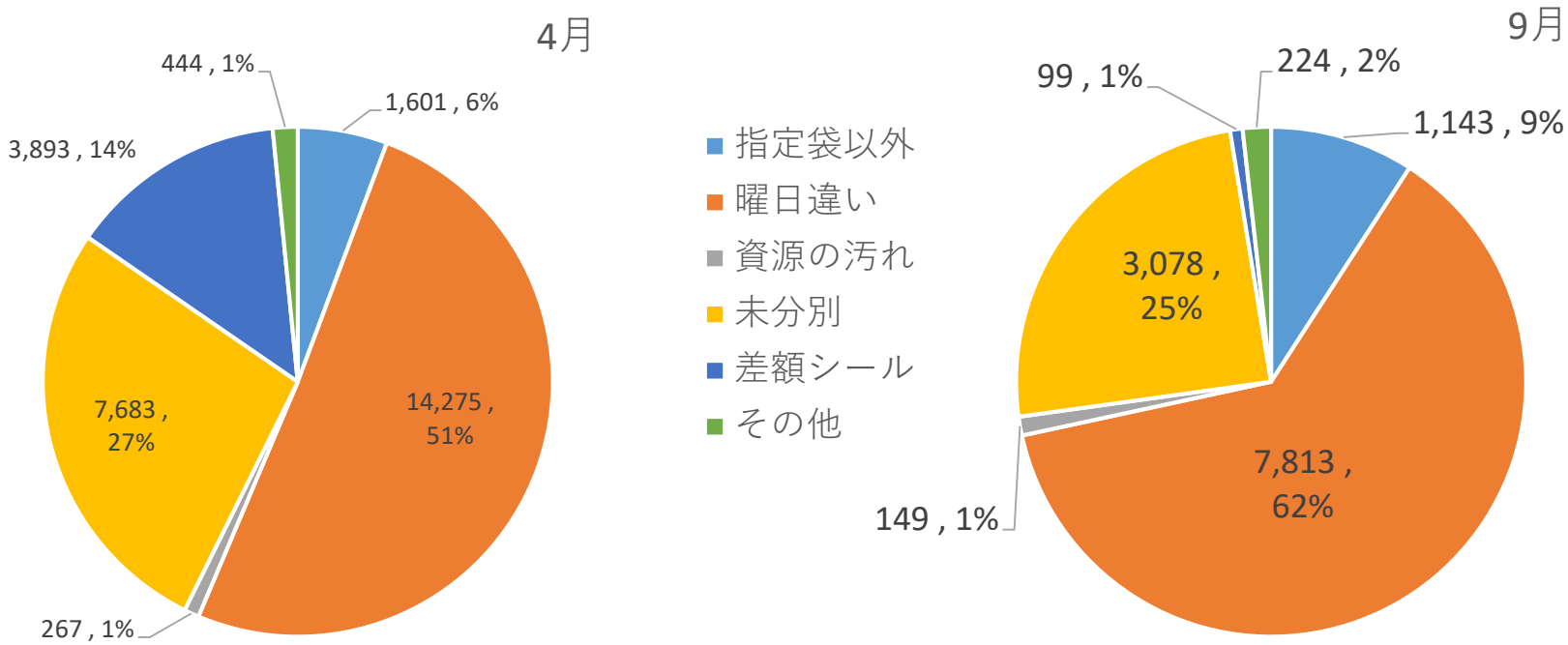
ごみステーションの排出状況



不適正排出の総数は昨年度と比較し全体的に増加しているが、今年度は4月から比較すると減少傾向にある。

不適正ごみ排出内訳

単位：袋



４月は「曜日違い」が５１%、「差額シール貼付なし」が１４%を占めていたが、９月は「差額シール貼付なし」は１%とほぼなくなっている。

焼却開始後における
市民からのよくあるご意見・ご質問①

○差額シールについて

Q 旧ごみ袋を期限までに使いきれなかった場合、新ごみ袋への交換や返金してもらえるなどの措置は有りますか？

A 現状そのような措置は考えておりませんが、旧ごみ袋の使用期限（R7.3.31）を市民の方々の在庫状況を聞き取り、１年間延長しました。（令和８年３月３１日まで使用可能）

Q 差額シールの複数枚使用はできないのか。

A （差額シール在庫不足時）原則としては、その袋に対応する差額シール１枚を貼っていただくこととしています。ただし、多く買ってしまった場合や、間違って別の差額シールを買ってしまった場合につきましては、複数枚貼っても、差額分が足りていれば収集しています。

Q 青い旧ごみ袋に差額シールを貼れば、燃やせるごみで出せるのか。

A 旧ごみ袋の色による中身の指定はありませんので、「燃やせるごみ・燃やせないごみ・危険ごみ」それぞれの用途でお使いいただけます。

焼却開始後における
市民からのよくあるご意見・ご質問②

○分別について

Q　ペットボトルのラベルを外さないといけないのはなぜか。
A　ペットボトルとプラスチック製容器包装ごみのリサイクル方法が異なるため、フタとラベルは外してください。

Q　バッグの金具など、燃やせるごみに分別されるものの一部に金属があるものはどうしたら良いか。
A　少量の金属であれば、燃やせるごみとして捨てることができます。

○その他

Q　焼却施設で処理されたごみはどこに埋め立てられるのか。
A　灰になったごみは、北広島市に持ち帰り最終処分場に埋め立てています。

ごみステーション整備事業補助金（除雪補助）について

〇概要

冬季積雪時のごみステーション管理の負担軽減のため、今年度から新たにごみステーション周辺の除排雪に係る費用の2分の1（1町内会等につき上限1万円）を助成。

〇申請件数

9月：1件　10月：2件　11月：4件（11月19日現在）

〇ご質問と回答

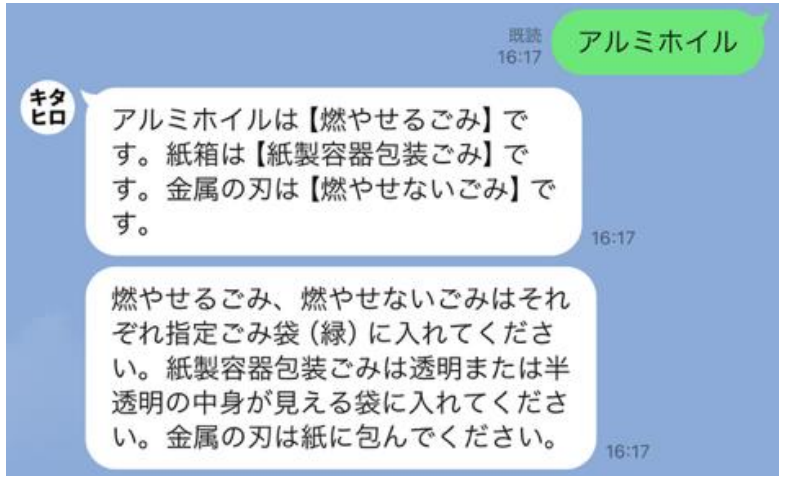
Q　どれくらい委託料がかかるのか目安を知りたい。
A　ごみステーションの場所や現場までの距離、形状等より委託料が決まると思うので、目安を提示することは難しい。

Q　収集曜日を減らすことは考えていないのか。
A　焼却処理に変わることに伴い、経済的・効率的にごみ収集を行うために、2地区に分けて今の体制としたことから、現在の収集曜日を継続します。収集曜日を減らすことは考えておりません。

市公式LINEアカウントの活用

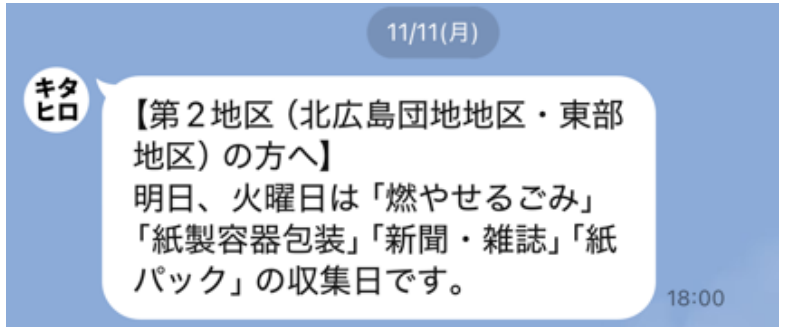
①　ごみ分別チャットボット

市公式LINEリッチメニューから質問ができます。
ごみの種類に応じて出し方が自動で回答されます。



②　ごみ収集日の通知機能

市公式LINEリッチメニューから登録できます。
居住地区のごみの収集日について、前日18時に
自動で通知が来ます。



焼却施設の稼働状況

令和6年9月末現在

ごみ搬入量（t）	千歳市	14,924.56
	北広島市	5,261.81
	南幌町	455.44
	由仁町	258.94
	長沼町	698.15
	栗山町	946.79
	合計	22,545.69

発電電力量（kwh）	7,499.640

焼却灰搬出量（t）	北広島市分	902.79
	全体合計	3,097.29

燃やせるごみ中継施設の稼働状況

４月から10月までの燃やせるごみ搬出実績

搬出回数：741回

搬出量：4，038t

※3台の車両が1日2～3回往復しています。

計量棟の新設により自己搬入の受付・支払に際して降車が不要になり便利になりました。

クリーンセンター施設の火災発生

令和6年10月2日資源リサイクルセンター火災発生

粗大ごみの破砕選別ラインから出火
出火原因は不明ながら市民の持ち込みごみから出火しており、
全国的に課題となっているリチウムイオン電池の混入による
事例の可能性が高い。